

日本のモード、ブラジルへ

matohu 8/15 ブラジリア・キャピタル・ファッションウィークに参加



©matohu



©matohu



©matohu

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、日本文化紹介派遣事業の一環として、ファッションブランド「matohu」のデザイナー堀畑裕之・関口真希子を8/13~22、ブラジルに派遣します。グローバル化に伴い、文化の均質化が進み、ファッションがファーストフードのように消費されつつある今、日本の美意識を見つめ、普遍性と同時代性を追求するmatohuの世界を、オリンピックとW杯を控え、急速な発展を続ける移民大国・ブラジルの人々に紹介します。

- 8月15日 ブラジリア Capital Fashion Week でのファッションショー
- 8月17日 リオデジャネイロ Senai Cetiqtでの講演
- 8月20日 サンパウロ Istituto Europeo di Designでの講演

◀ 纏う×待とう

「日本の美意識が通低する新しい服の創造」をブランドコンセプトに、独自のテキスタイルとパターンカットによって、和でも洋でもないあたらしい服のあり方を提案している。ブランド名の「matohuまとう」には、服を纏うという意味と、美意識が成熟するのを待とうという意味が込められている。

matohu 

▶ デザイナープロフィール

堀畑裕之は同志社大学大学院哲学修了後、関口真希子は杏林大学法律政治コースを卒業後、ともに文化服装学院アパレルデザイン科で学ぶ。1998年に卒業後、それぞれコム・デ・ギャルソンとヨウジ・ヤマモトでパタンナーとして5年間勤める。2003年ともに渡英、ロンドンのデザイナー、Bora Aksuのコレクションの仕事に携わる。帰国後の2005年3月 '05-'06 A/W「matohu」をスタート。2006年3月よりジャパンファッションウィークに参加。2009年、毎日ファッション大賞新人賞・資生堂奨励賞を受賞。



photo by Keisuke Akabane